



平成24年6月27日

お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

橋梁点検車の操作説明会を開催します

～『Hozen3,000』 「点検・診断から始まる 3,000 橋保全ミッション」 第1弾～

橋梁点検車は一般の土木施工機械と異なり、配備台数も限られており、作業中の事故防止の観点から、橋梁点検に従事する技術者に対して操作説明会を開催します。

日 時：平成24年7月4日（水）13:00～17:00 7月5日（木）10:00～15:00

参加者数により、終了時間は前後する場合があります。

予備日：平成24年7月9日（月）13:00～17:00 7月10日（火）10:00～15:00

場 所：広島県庄原市口和町^{くちわ つねさだ}常定地内 中国横断自動車道尾道松江線（未供用区間）^{つねさだ}常定橋（仮称）

開催主体：国土交通省中国地方整備局中国技術事務所

対象者：橋梁点検従事技術者（（社）建設コンサルタンツ協会中国支部、中国技術事務所災害時協力協定業者、5県2市の担当職員及び中国地方整備局職員）

開催内容：バケット式橋梁点検車（中国技術事務所保管）、歩廊式橋梁点検車（倉吉河川国道事務所保管）の操作説明及び操作訓練

プログラム：あいさつ

趣旨説明

操作講習（座学50分）（操作実習180分） 7月4日、5日とも同様

問い合わせ先

中国地方整備局 中国技術事務所

副所長 ^{かわかみ}川上 ^{りゅうぞう}隆三

技術情報管理官 ^{ひの}樋野 ^{よしひろ}義周（橋梁点検・診断関係）

施工調査課長 ^{きしもと}岸本 ^{たかふみ}孝文（橋梁点検車関係）

防災・技術課長 ^{さとう}佐藤 ^{まさる}勝（広報担当）

住 所：広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

※説明会は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。ただし、担当者の指示に従ってください。悪天候の場合には、中止することがあります。

橋梁点検車の紹介

1: バケット式橋梁点検車



点検風景



バケット搭乗風景

(作業可能範囲)

- ・最大地下深さ: 17.4m
- ・最大地上高: 16.3m
- ・最大作業半径: 11.4m
- ・最大差込み長さ: 15.0m

車両諸元: 全長: 11,780mm 全幅: 2,490mm
全高: 3,660mm 車両総重量: 24,900kg
乗車定員: 2名

点検は車両が移動しながら行います。
小回りが必要な点検が得意です。

2: 歩廊式橋梁点検車



点検風景

(作業可能範囲)

- ・橋梁横断方向: 14.0m
- ・橋梁高さ方向(桁高): 5.0m(但し俯仰ブーム仰角0度)
- ・防音壁乗り越え高さ: 4.0m(この時の適用桁高2.1m)
- ・道路の最大許容横断勾配: $\pm 6\%$
- ・道路の最大許容縦断勾配: $\pm 6\%$

(車両諸元)

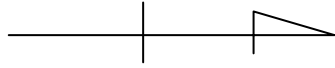
全長: 11,968mm 全幅: 2,490mm
全高: 3,460mm 車両総重量: 22,000kg
乗車定員: 2名

一度に橋梁下部全面を点検するのが得意な機械です。

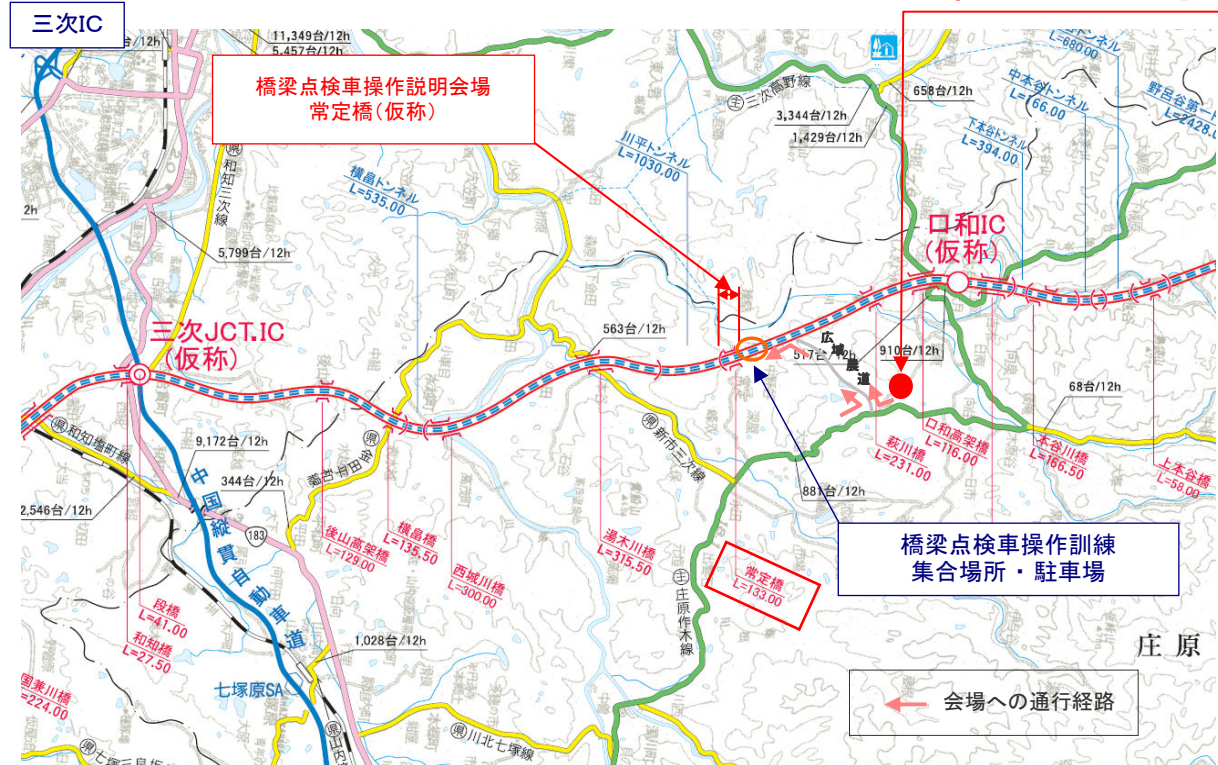
この取り組みは、中国技術事務所『Hozen3,000』（別紙）の一環として行っています。
『Hozen3,000』とは・・・。

橋梁の点検・診断により得られた知見を、更なる品質確保や、新しい技術開発に繋げていく、中国技術事務所の取り組みです。

位置図

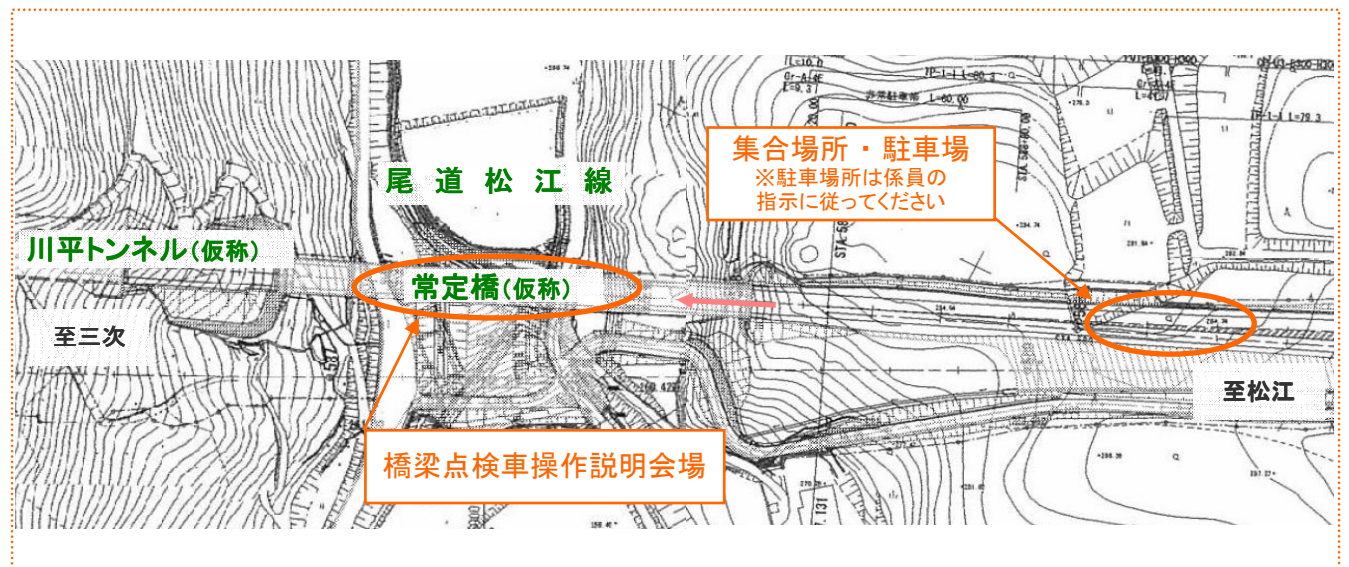
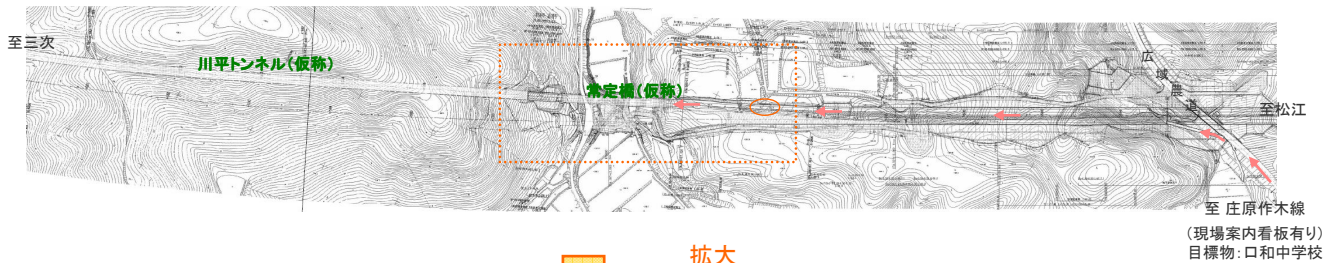


目標: 口和中学校



※インターチェンジ、ジャンクション及び構造物の名称は仮称です。

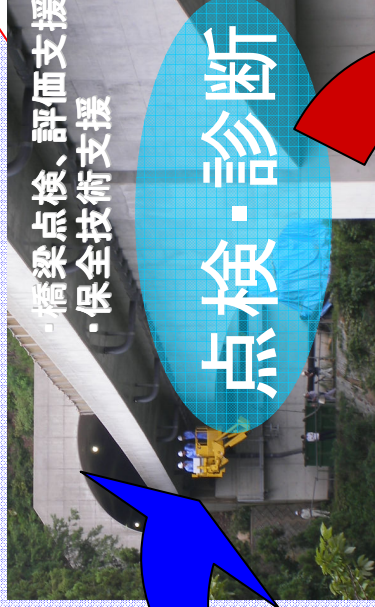
会場周辺拡大図





- ・品質確保のための調査・試験
- ・構造物耐久性向上に関する検討

品質確保



- ・橋梁点検、評価支援
- ・保全技術支援

点検・診断



新設橋梁
設計・施工

既設橋梁
補修・補強

- ・「点検診断」・「品質確保」・「技術開発」の
協働効果で、直轄国道約3,000橋の保全を
支援します。



技術開発

- ・現場ニーズの調査
- ・新規研究テーマの創出
- ・新技術 (NETIS) 登録管理
- ・構造物延命化の技術開発・支援
- ・点検車輛操作等、点検支援

★点検・診断結果、補修補強工事結果の蓄積
 ★新設橋梁の長寿命化へもフィードバック